

25番		長江 秀幸 議員	
項目	令和5年度予算大綱説明と市政運営の基本方針について	項目	
<p>(要旨)</p> <p>1 本市の経済動向と予算編成について</p> <p>(1) 国、県の経済動向をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の経済動向をどのように分析し、予算に反映したのか伺う。</p> <p>(3) 一般会計の総額は前年度から10億5000万円増えて412億1000万円。義務的経費や継続事業中心の骨格予算で、予算規模は過去2番目となっている。ごみの減量、資源化に向けた取り組みに重点を置いた感があるが、総合計画の歩みを加速させるための十分な予算編成となっているのか伺う。</p> <p>(4) 歳入において、市民税は前年度比3.5%増の88億5460万円、法人市民税を同24.5%増の13億3170万円と見込んでいる。企業活動、経済状況は好転しているとみてのことだとは思いますが、昨今の原油価格・物価高騰の影響を加味しての確信ある予算となっているのか伺う。</p> <p>(5) 各事業の財源として、臨時財政対策債を含め市債を約13億円借り入れるとともに、公共施設等整備基金を約9億円取り崩して、公共施設等総合管理計画に基づく施設整備に活用しているが、財源の確保については適正と考えているのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>2 第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について</p> <p>(1) 総合計画策定から6年が経過し7年目を迎える。市長は、「その成果が求められる時期に入ったと認識している」と述べられているが、この6年間の評価と今後どのように成果をあげていくのか伺う。</p> <p>(2) 本市は、人口減少、少子高齢化が進む中でも、転入者数が転出者数を上回る社会増の状況が続いている。また、昨年実施した市民アンケート調査においては、住みやすさや住み続けたい傾向といった評価も高い水準を維持しているとのことだが、人口増にむけての現状の取り組みと今後の方策について伺う。</p> <p>(3) 昨年の代表質問の答弁で、「SDGsのゴールに向けた取り組みとして、市民がいつまでも快適に過ごせるよう、生活環境の向上と持続可能なまちづくりを実現していくため、リデュース、リユース、リサイクルといった3Rを徹底し、循環型社会を構築することによって本市の豊かな自然環境を次の世代につなげていきたい。」との答弁であったが、現状と今後の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(4) ジブリパークを活かし、本市としても発展、活性化をしていかなければならない。今後の取り組みについて伺うとともに、おもてなしの精神を持つてのあいさつ運動や環境美化の取り組みはどのように進めていくのか伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>3 都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について</p> <p>(1) 地域産業の振興と人材の活躍推進について</p> <p>①近年の企業誘致の成果として、都市計画マスタープランに位置付けられた産業系の土地利用誘導ゾーンのうち、八床町と幡中町において3社、尾張瀬戸駅前のホテル誘致と成果をあげてきたが、その後の誘致活動と成果はどのようなか伺う。</p> <p>②立地促進奨励金や企業再投資補助金などを活用して事業拡張する市内企業があると思うが、利用実績、成果はどのようなか伺う。</p> <p>③新たに企業誘致が可能となる候補地の抽出、誘致する業種を視野に入れた検討は進んでいるのか伺う。</p> <p>④産業支援センターせとにIT、AIに精通したコーディネーターを配置し、SNSの活用、IT簡易診断、生産性向上補助金フォローアップなど、事業者のデジタル化に向けた支援をしている。事業者のニーズがあると伺うが、現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>⑤農業振興については、第3次食育推進計画に基づき、食の安心・安全の確保や地産地消などの取り組みを推進していくことで、地元農畜産物の需要と供給の拡大を図り、農業を継続できる環境を整えていくとのことだが、需要と供給の現状と実際拡大は図られているのか伺う。</p>	(要旨)	<p>(2) 年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくりについて</p> <p>①せと・しごと塾の卒塾生に対する支援策として、創業支援コーディネーターによる個人相談のほか、講習会や経営相談など商工会議所や金融機関と連携し取り組んでいるが、成果、実績はどのようなか伺う。</p> <p>②中心市街地商店街への出店については、若い経営者による個性的な出店が続き、商店街に若い客層の来訪が増加傾向にあり、商店街の賑わい創出につながっているということだが、利用可能な空き店舗の発掘、経営者の集積などの現状と対策はどのようなか伺う。</p> <p>③ツクリテ支援については、コーディネーターに対する相談内容やツクリテバンク登録者を対象にしたアンケートの結果を参考にして販路開拓のためのイベント開催や相談業務、ツクリテによるセミナーの開催などの支援を行い、好評を得ているということである。コロナ禍においては、補助制度の活用や事業の見直しの相談が多く、ECサイトや補助金の活用のアドバイスで相談業務が功を奏しているようであるが、ツクリテたちの自主的な活動や販路開拓の状況はどのようなか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3) 地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開について</p> <p>①観光誘客、地域経済の活性化については、コロナ禍において、旅行や観光に対するニーズや嗜好の変化に対応し新しい旅のスタイルにも合致した観光タクシーツアーが大好評を得ている。今後日本遺産のまちの本市ならではの特色のある、有形・無形の財産を最大限に活用し、さらなる観光誘客を図り、地域経済の活性化に取り組んでいくと思うが、具体的方策について伺う。</p> <p>②昨年秋に開園したジブリパークは、今後、第2期エリアの開業も予定されており、様々な取り組みがなされていく。積極的なシティプロモーション活動を展開していくとのことだが、具体的な戦略について伺う。</p> <p>③「瀬戸ファンを増やす、瀬戸で暮らす魅力を伝える」を基本目標とし、新たな戦略としてホームページやSNSなどの積極的な活用を図り基本目標ごとに設定したターゲットに伝わるシティプロモーションの展開をしてきたと思うが、その成果と今後の展開について伺う。</p> <p>④ふるさと納税の推進については、返礼品協力事業者と返礼品の充実を図りふるさと納税制度を活用した魅力発信の強化により、好転してきている感があるが、引き続き返礼品の拡充に取り組んでいくと思うが、具体的方策について伺う。</p>	(要旨)	<p>(4) 市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備について</p> <p>①幹線道路、アクセス道路の令和5年度の整備内容について具体的に伺う。</p> <p>②DX推進について、行政手続きのオンライン化のためのシステム改修に取り組んでいるが、現在までの進捗を伺う。</p> <p>③やきものの産地を感じられるノスタルジックな小径や散歩道、やきものの専門店などの風景をインターネット上の仮想空間に再現した「バーチャル瀬戸」を開発したが、利用状況と今後の展開について伺う。</p> <p>4 都市像「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(1) ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援について</p> <p>①子ども・若者センターにおいて、困難を有する子ども・若者やその家族に対し、専門的で切れ目のない支援を行うとのことだが、福祉、介護、医療、教育などの関係機関との連携・協力は十分に行われているのか伺う。また、ヤングケアラーへの支援など成果は現れてきているのか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>②妊産婦及び乳児の健康保持と経済的負担を軽減するため、産後健康診査の回数を増やすとともに休日保育における祝日の受入定員を増加するが、現状と具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>③令和3年3月定例会の代表質問において、通院医療費助成の対象拡大について伺い、「財政面や近隣市町の動向を踏まえ、検討していく必要があると考える」との答弁であったが、どのような検討がされたのか伺う。また、現時点での通院医療費助成の拡大についての考えを伺う。</p> <p>(2) 瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現について</p> <p>①学校施設の長寿命化改良工事を進めるが、具体的改修内容と今後の計画について伺う。</p> <p>②小中一貫教育を進めるとともに、子どもたちの多様な個性やニーズに応じた教育施策を展開するが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 多世代が子育てに関わることのできるまちづくりについて</p> <p>①コミュニティ・スクールについては、学校目標を地域と共有し、地域未来塾をはじめとした学習支援、自然環境や地域の歴史や文化の継承講座等、地域と共同で取り組んでいる。事業として、中学校ブロックごとにコミュニティ・スクールの設置を進めるが、課題と今後の進め方について伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>(4) 都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承について</p> <p>①居住環境の魅力向上と子育て世代にとって魅力のあるまちづくりを推進するため、子どもたちが安全・安心に通学できる歩道の整備を行うとともに、公園の安全性・快適性を向上するための施設の更新を実施するが、具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>②中水野駅地区区画整理については、居住や子育て支援、商業施設などの新たな都市機能の誘導を図り、水野地域の拠点として整備を進めるが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>③都市基盤整備の課題として狭隘道路の問題がある。拡幅整備の状況はどのようなか。また、整備の課題である用地処理の方法等の整理状況について伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>5 都市像「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>(1) 誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくりについて</p> <p>①フレイル予防として適切な保健指導・啓発等に取り組むが、具体的方策について伺う。</p> <p>②令和3年度においては、乳幼児を対象とする予防接種や検診は、新型コロナの影響を受けず受診率が維持できた一方、成人向け健康診査である女性の健診は感染拡大の影響で受診予定者の約3割の方が受診を控えられ、がん検診においてもコロナ感染拡大前の令和元年と比較すると、全体として1割から2割程度受診率が減少している状況であった。その後の健康診査、予防接種、各種健診の受診の状況と取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>①NPO法人、民間企業との連携や地域包括支援センターの体制強化に合わせて、多様な生きがい活動や社会参加活動の支援等に取り組んできたと思うが、地域や社会を構成する一員として社会貢献できる場の提供はできているのか伺う。</p>	(要旨)	<p>②高齢者が自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備と外出機会の創出を目的とした移動手段の運行を行うとともに、高齢者のフレイル対策を進めていくということだが、具体的にどのような取り組みでいくのか伺う。</p> <p>(3) 誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>①包括圏域内に設置した障がい者相談センターと瀬戸市障がい者相談支援センターとの連携により、地域に根差した障がい者相談支援体制を構築していくが、連携方法と相談支援体制は実際にどのように強化されるのか伺う。</p> <p>②菱野団地再生計画に基づき、住民との協働で再生に向けたプロジェクトを進めるため、エリアマネジメント団体の活動支援などに取り組むが、どのような支援になるのか具体的に伺う。</p> <p>(4) 地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくりについて</p> <p>①今年度から開始したプラスチック製容器包装類の分別に加え、新たに剪定枝の回収を実施し資源化を推進するが、回収方法、体制等どのようなようになるのか伺う。</p>

25番	長江 秀幸 議員		
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>②防災に関する様々な情報の収集・伝達方法を構築し、広く市民に的確な避難情報の発令、伝達を行うため、コミュニティFMの有効活用や安全安心情報メールの機能拡張など情報伝達手段の拡充に取り組むが、市民に対しては実際にどのようにプラスになるのか具体的に伺う。</p> <p>(5) 誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくりについて</p> <p>①令和4年に迎えた民吉生誕250年を契機に、その功績や精神を学ぶフォーラムの開催や、交流連携協定を締結した天草市、ゆかりの地である佐々町との交流を進め、また、瀬戸市史陶磁編の編さん業務に取り組むとのことだが、市民をどのように取り込んでいくのか伺う。</p> <p>6 真に効果のある障がい者施策の実施について</p> <p>(1) 障がい者手当廃止後の取り組みとして、瀬戸市障害者地域自立支援委員会から出された意見を基に、7つの分野(危機管理、障害児、就労支援、外出支援、相談支援、権利擁護、緊急時)における課題解決を図るため、障害福祉の増進という視点で、各部連携して事業を精査し、生活支援を加えた8つの分野に分類した施策だが、今回、力を注いだ分野はあるのか伺う。また、全体的に各分野に行きわたった事業となっているのか伺う。</p>	<p>(要旨)</p>		